

「レベル4の日本語授業を増やして」、「作文添削員を」人文学部留学生懇談会



人文学部の国際交流委員会は、1日午後、人文講義棟C棟3階の留学生室に留学生を集めて留学生懇談会を開催した。

会合には、中国、韓国などからの学部、大学院を含

めた留学生が8人出席し、これまでで最も多い参加者を記録した。留学生らは、昨年と同様「日本語の作文を添削する先生がいたら嬉しい」、「留学生センターで教える日本語の最も難しいクラス、レベル4の講義を増やしてほしい」などの要望が聞かれた。

留学生懇談会は、チューター懇談会と同じく例年開催されている会合である。留学生が日ごろ感じている注文や要求を聴取し、国際交流に生かそうとの発想でこの会合が毎年開かれている。

会合では、留学生の多くから、「人文棟に留学生室のあることさえ知らなかった」との声があがり、「学部は積極的に宣伝すべき」との指摘があった。



留学生の生活を支援するチューター制度についても学部と大学院の学生から、「現時点でチューターがおらず、早く見つけてほしい」との要望が出た。国際交流委員会では、直ちに学部の学務に連絡して早急な対応

を要求した。

このほか、備品のパソコンが老朽化しており、更新した方がよいとのアドバイスもあり、その方向で、総務などと調整する。リストアップのあった図書についても購入の可能性を検討する。国際交流委員会からは、4委員の出席があった。授業などで出席できない留学生からは、事前に文書で要望などが寄せられていた。



(終)